

アフリカの若者に明るい未来を
ーアフリカの若年層雇用促進に関して議論ー

国際協力機構（JICA）は、6月2日（日）15：30より、横浜インターコンチネンタルホテルにて、アフリカ開発銀行、世界銀行、神戸大学と、アフリカの若年層雇用促進をテーマにサイドイベントを開催しました。アフリカからはガボン国のオンディンバ大統領や南アフリカ国のズマ大統領、タンザニア国のキクウェテ大統領、世界銀行のキム総裁、アフリカ開発銀行のカベルカ総裁、MIT J-PAL（注）のグレネスター・エグゼクティブ・ディレクターが登壇しました。JICAからは、田中理事長が登壇し、アフリカの若年層雇用について議論しました。



このサイドイベントは、アフリカにおいて急拡大する若年層人口の雇用問題をどのように捉え、どのようにすれば若者を経済成長と開発のエンジンに変貌することができるかを議論するために開催されました。

冒頭でアリエッティ・ガーナ大学副学長がアフリカの若年層雇用に関する JICA・世界銀行・アフリカ開発銀行による共同提案書を発表し、それに続いてパネルディスカッションを行いました。各国大統領は、若年層失業への対策は重要な課題とし、それぞれ自国の課題について説明しました。田中 JICA 理事長は、KAIZEN プロジェクトや小農支援、理数科教育など若年層失業とも関連する支援の経験に基づき、有効な対策について述べました。また、有効性が証明されている対策を今後拡大していくべきと強調しました。会場からは、学校教育や職業訓練などと企業が求める人材とのミスマッチに関する質問などが上がり、それに対して各パネリストが議論しました。

今回、アフリカの首脳クラスやドナー、研究機関、そして JICA が一同に会した結果、アフリカの若者の活力、才能、逞しい企業家精神について、そして今後予想される急速な若年層人口の拡大はグローバル経済の中でアフリカ経済の強みであることが再認識されました。今回の議論が、今後、各国の政策に反映されていくことが期待されます。また、JICA は今後とも、各国のニーズに応じ、草の根レベルの協力から政策提言にいたるまで、さまざまな形で、各国の抱える課題の解決に貢献していきます。

（注）J-PAL…アブドゥル・ラティーフ・ジャミール貧困アクション研究所

【第5回アフリカ開発会議サイドイベント】

■本イベントの登壇者

【パネリスト】

- ・ガボン共和国 アリー・ボンゴ・オンディンバ大統領
- ・南アフリカ共和国 ジェイコブ・ズマ大統領
- ・タンザニア連合共和国 ジャカヤ・キクウェテ大統領
- ・世界銀行 ジム・ヨン・キム総裁
- ・アフリカ開発銀行 ドナルド・カベルカ総裁
- ・MIT J-PAL レイチェル・グレネスター所長
- ・JICA 田中明彦理事長

【モデレーター】

- ・道傳愛子 NHK 解説委員